

## Bioengineering Hackathon in 生体医工学サマースクール 2019 において、 情報科学研究科の学生が最優秀賞を受賞しました

2019年8月27日(火)-28日(水)に開催された、生体医工学サマースクール2019(立命館大学)において、大学院情報科学研究科システム科学専攻博士前期課程1年の遠藤一平さんが、最優秀賞を受賞しました。

遠藤さんは、ハッカソン形式でスポーツ医学において臨床現場がかかえている課題について取り組み、アイデア出し、物づくり、発表を行い、審査員投票の結果、最も優れていたとして表彰されました。



生体医工学サマースクールの詳細は以下の通りです。

日本生体医工学会では、毎年夏に学生や若手研究者が一堂に会する夏のイベント、サマースクールを開催しております。本年度も1泊2日で参加者全員がアイデアを出し合い、テーマの解決を目指すハッカソンスタイルでのサマースクールを開催します。またグループワークを通して参加者間の研究者ネットワークが形成されることにも期待しております。今回のテーマは“生体医工学で健やかな生活”として「スポーツ障害／外傷」と「緩和ケア」のまったく異なる2つの話題を同時に扱います。オリンピック開催を来年に控え注目度の高いスポーツ、そしてその影には障害や外傷があります。また、疾病の治癒だけではなく、身体的・精神的苦痛や社会生活の不安を緩和し、QOL (Quality Of Life) を保つ緩和ケアは、超高齢社会を迎えた我が国の重要な課題の一つです。現在注目度／重要度の高い2つのテーマについて著名な先生からご講演いただいた後、多様な分野からの若手研究者／学生が、アイデアを出しあってグループでコンセプトのデザインを行い、可能な範囲でサービスのプロトタイプ製作を行います。

Bioengineering Hackathon 生体医工学サマースクール 2019 <http://bh2019.lelab.jp/>